「影響なし」九割 小売・飲食

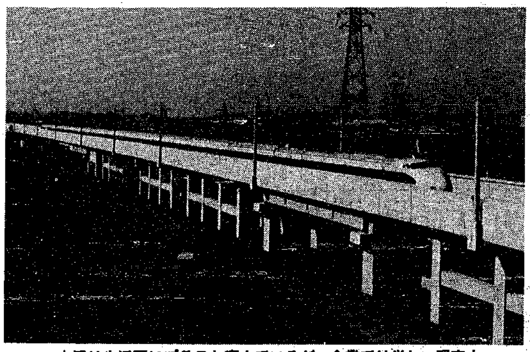
市民は半数がプラス

上越新幹線影響調査

市では、上越新幹線開通後約半年を経過した時点で、上越新幹線の開通が本市の商業・観光にどのような影響を及ぼしているか、また将来展望はどうか――などを調査していましたが、このほど結果がまとまりました。それによると①小売・飲食業は九割が「影響なし」②宿泊業では客数、売上高が伸びない③五割強の市民がプラスの影響を受けた――などが分かりました。

この調査は、市が新潟経済社会リサーチセンターに委託し、今年七月一日から十五日までアンケートなどにより実施しました。

対象は、小売業者、宿泊業者、タクシー業者、市民――の四種類。調査結果のほかに、商業・観光の将来展望、現状分析、今後の対応などがまとめられています。



市民は生活面にプラスと喜んでいるが、企業では厳しい現実も（鳥屋野地区を走る上越新幹線）

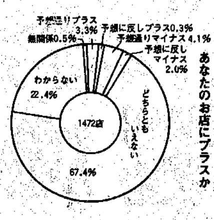
規模大きいほどプラス 飲食業は売上げ増加予想

小売・飲食業（調査対象数三千三百十二店 有効回答数千四百七十二店 回答率四四・四%）

〈新幹線開通の影響〉

「どちらとも言えない」が六七・四%と圧倒的に多く、「わからない」も二二・四%あり、全体の九割近くが「影響なし」と答えています。

プラス、マイナス面で何らかの影響があったとするものは九・七%。このうち「マイナス」が六・一%、「プラス」が三・六%となっています。



小売業全体と飲食業を比較した場合、「プラス」「マイナス」とも飲食業の方が高い割合となっています。

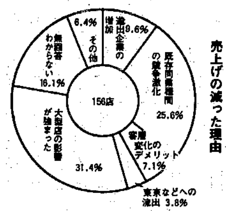
規模別では、「プラス」であったとする割合は規模が大きくなるほど高く、従業者二十人以上では、一五・四%が「プラス」と答えています。

〈来店客数の変化〉

「変わらない」とするものが六九・二%、「わからない」が一七・八%で、はっきりと来店客数に変化のでているところは非常に少なくなっています。

〈売上高の変化〉

「変わらない」が七〇・四%と圧倒的に多くなっています。一方「やや減った」「非常に減った」は一〇・六%で、「非常に伸びた」「やや伸びた」の三・三%を大きく上回っています。



売上高減少の理由は、「大型店の影響が強まった」「既存同業種間の競争激化」が多くなっています。

〈今後の売上げ見通し〉

「将来とも影響なし」四八・四%、「将来やや伸びる」一二・八%となっています。しかし、「将来減少する」も一五・七%あり、減少見通しの方がやや多くなっています。

業種別では、飲食業は「将来伸びる」二〇・一%、「将来減少する」九・〇%と増加予想がかなり多くなっています。

客数、売上高伸びず 都市ホテルは好調

宿泊業（調査対象数百八十一社、有効回答数八十一社、回答率四四・八%）

〈新幹線開通の影響〉

「プラス」の影響を受けているホテル、旅館は一二・三%にとどまり、「マイナス」が五四・四%と半数以上を占めています。新幹線開業は現在までのところ新潟市の宿泊業者に対し、全体としてはあまり好影響を及ぼしていません。特に「予想に反してマイナス」が約二割あり、当初期待したようには客数、売上高が伸びない現実の厳しさがうかがわれます。

業態別では、都市ホテルが「プラス」三六・四%で「マイナス」が一社もないのに対し、ビジネスホテルでは「マイナス」が六三・七%、「プラス」が一八・二%、旅館では「マイナス」が七〇・九%、「プラス」が六・三%となっており、都市ホテルとそれ以外とで好対照を示しています。

タクシー業（調査対象数二十五社、有効回答数十五社、回答率六〇・〇%）

〈新幹線開通の影響〉

回答のあった十五社のうち「予想通りプラス」一三・三%（二社）、「予想に反しマイナス」二〇・〇%（三社）、「どちらともいえない」六六・七%（十社）で、新幹線開業の影響があったとする企業は三分の一と少なくなっています。

売上高についても同様で、「変わらない」が八〇・〇%（十二社）となっており、売上面にほとんど寄与していません。

今後の見通しは、十五社全部が「やや伸びる」としており、楽観的な見通しとなっています。

県外への旅行が便利 ～乗車回数増える～

市民（調査対象数千人、有効回答数三百六十八人、回答率三六・八%）

〈新幹線の利用状況〉

乗車「ゼロ」が四一・三%を占めているのに対し、何らかの形で「新幹線を利用した」人が五八・三%と六割近くに達しています。

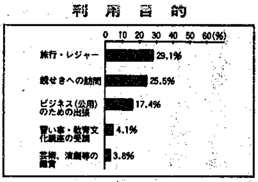
利用回数は、「一～二回」が三〇・二%と最も多く、次いで「三～五回」が一三・六%、「六～八回」が八・二%、「十二回以上」が四・九%と続いており、新幹線開通後八カ月現在の平均乗車回数は二回程度とみられます。

〈乗車回数の変化〉

「開通前と変わらない」四八・一%と五割近くに達しています。しかし、「開通前より多くなった」一五・二%に対し、「開通前より少なくなった」は四・六%にすぎず、「乗車回数が増えた」とする回答が多くなっているのが注目されます。

〈利用目的〉

「旅行、レジャー」「親せきへの訪問」「ビジネス」の順となっています。



買い物の行き先は、「首都圏」が七五・〇%。芸術、演劇等の鑑賞の行き先も「首都圏」七七・八%と圧倒的に多くなっています。

旅行、レジャーの行き先でも「首都圏」が五〇・九%と半数を占めています。

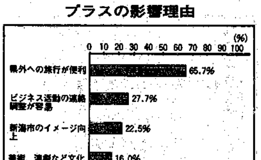
〈新幹線開通の影響〉

あなたの生活にとってどのような影響があったかという問に対して、「大いにプラス」一六・八%とあまり多くないものの、「ある程度プラス」が三七・五%にのぼり、全体の五割強（五四・三%）の人がプラスの影響を受けたとしています。

一方、「大いにマイナス」〇・五%と「ある程度マイナス」四・一%と合わせ四・六%にすぎませんが、注目すべきは、三割強（三四・二%）の人が、「影響なし」と答えています。

性別では、女性より男性が、年齢別では年代が進むごとに、職業別では、会社役員と自由業で、それぞれ「プラス」と答えた人が多いのが目立っています。

〈プラスの理由〉



「県外への旅行が便利」六五・七%と圧倒的に多くなっています。

〈マイナスの理由〉

「自然破壊、公害発生」四〇・〇%、「地価・物価上昇」二三・三%、「市の経済商業活動の衰退」「犯罪の増加・広域化」の順となっています。

3歳児検診

受付時間　午後1時～2時（中、西、坂井輪地区は午後1時半～2時）
対象　昭和55年6月生まれ
持参品　母子手帳、尿
（容器は東・西保健所、各地区保健センター、各地区事務所・連絡所、市民課9番窓口に用意してありますので、あらかじめ取りにおいで下さい）
※手話奉仕員の必要な方は前日までに、ご連絡下さい。

〈東保健所会場〉

月日	対象校区
12・13	万代、南万代、長嶺、沼垂、大形、酒屋、割野、笹口
12・27	竹尾、木戸、牡丹山、曽野木、東曽野木

〈北地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・7	松浜、太夫浜、濁川、太郎代、南浜

〈石山地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・2	中野山、南中野山、山潟、東中野山、丸山、大渕、江南、桜が丘

〈鳥屋野地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・6	上所、上山、女池、鳥屋野

〈中地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・21	山の下、桃山、東山の下、下山

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
12・9	浜浦、白山、鏡渕、大畑
12・15	小針、青山、有明台、関屋、礎、新潟、東青山

〈西地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・2	内野、木山、笠木、小瀬、赤塚、西内野

〈坂井輪地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・23	五十嵐、真砂、坂井輪、新通、坂井東

1歳半児検診

受付時間　午後1時～2時（中、西、坂井輪、入舟地区は午後1時半～2時）
対象　昭和57年5月生まれ（入舟地区は6月生まれも含む）
持参品　母子手帳　※手話奉仕員の必要な方は、前日までにご連絡下さい。

〈東保健所会場〉

月日	対象校区
12・8	万代、南万代、長嶺、沼垂、曽野木、東曽野木、酒屋、割野、笹口
12・22	大形、竹尾、木戸、牡丹山

〈石山地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・1	中野山、東中野山、南中野山、山潟、桜が丘、江南、丸山、大渕

〈鳥屋野地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・14	上所、女池、鳥屋野、上山

〈中地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・15	山の下、桃山、東山の下、下山

〈西保健所会場〉

月日	対象校区
12・8	小針、浜浦、白山、鏡渕、大畑
12・22	青山、有明台、関屋、礎、新潟、東青山

〈西地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・20	内野、木山、笠木、小瀬、赤塚、西内野

〈坂井輪地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・1	坂井東、新通
12・26	五十嵐、真砂、坂井輪

〈入舟地区保健センター会場〉

月日	対象校区
12・27	入舟、栄、豊照、湊

股関節検診

受付時間　午後1時～2時
対象　昭和58年8月生まれ
持参品　母子手帳、料金920円、オムツ、ミルク　※手話奉仕員の必要な方は、前日までにご連絡下さい。

〈東保健所会場〉

月日	対象校区
12・9	竹尾、木戸、牡丹山、中野山、東中野山、南中野山、山潟、江南、桜が丘、丸山、大渕、酒屋、割野、大形
12・23	山の下、桃山、東山の下、下山、万代、南万代、長嶺、沼垂、笹口、上所、女池、上山、鳥屋野、曽野木、東曽野木、松浜、南浜、太夫浜、太郎代、濁川

〈西保健所会場〉（家族計画指導も含む）

月日	対象校区
12・13	五十嵐、真砂、坂井輪、坂井東、新通、有明台、笠木、小瀬、内野、西内野
12・27	小針、青山、東青山、浜浦、関屋、新潟、礎、大畑、白山、鏡渕、湊、栄、入舟、豊照、木山、赤塚

保健所・保健センター電話案内

東保健所	☎43－5311
石山地区保健センター	☎86－4450
鳥屋野地区保健センター	☎85－2373
北地区保健センター	☎59－7332
西保健所	☎66－5171
西地区保健センター（西地区事務所内）	☎62－3405
坂井輪地区保健センター	☎60－3255

ママへの準備教室

日時　12月2、16日午後1時半～3時半（都合のよい日を選択、1回コース）
会場　東保健所
対象　59年4、5月分べん予定の初産婦各20人
内容　赤ちゃんの衣類の選び方・おふろの入れ方（実習）・オムツの作り方
持参品　母子手帳、エプロン、タオル
申し込み　電話で会場へ

育児講習会

日時　11月25日午後零時半～1時受け付け
会場　鳥屋野地区保健センター
対象　鳥屋野地区在住の生後6～7カ月の第一子をお持ちのお母さん20人
内容　小児科医師の診療とお話、身体測定、個人相談
持参品　母子手帳
申し込み　電話で会場へ（予約制）

育児学級

日時　11月24日午後1時半～
会場　木戸公民館
対象　木戸、牡丹山、竹尾校区在住で58年8、9月生まれの第一子をお持ちのお母さん
内容　小児科医師と保健婦の話
持参品　母子手帳
問い合わせ　東保健所へ